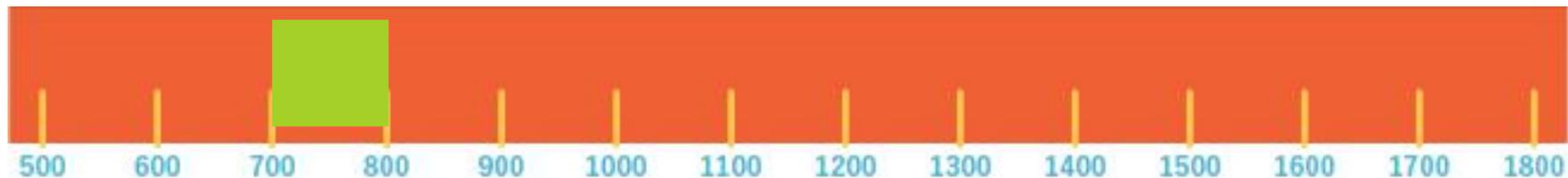


第Ⅰ部 原始・古代
第2章 律令国家の形成
4 天平文化

教科書 P.54～60

今回の学習範囲

1. 国史編纂と『万葉集』
2. 国家仏教の展開
3. 天平の美術



1 天平文化の特徴→ 8世紀、

①唐の文化の影響を強く受け、②鎮護国家思想にもとづく仏教文化をはじめ、③国際色豊かな④貴族文化が花開いた。

2 独立国家の自覚→ 天武天皇の命で始められた国史編纂事業が完成し、諸国の地誌も編纂された。

歴史書	古事記 (712年)	「帝紀」「旧辞」を稗田阿礼が暗唱し、太安万侶が筆録。
	日本書紀 (720年)	舎人親王らが編纂。漢文の編年体で記される。六国史の最初。
地誌	風土記	諸国の産物・地名の由来・伝承など。常陸・出雲(ほぼ完全)・播磨・豊後・肥前が残存。

1 国家仏教と鎮護国家→国家の安定をはかる鎮護国家の思想から、仏教は国家の保護と統制を受けて発展した。

南都七大寺：国営の寺

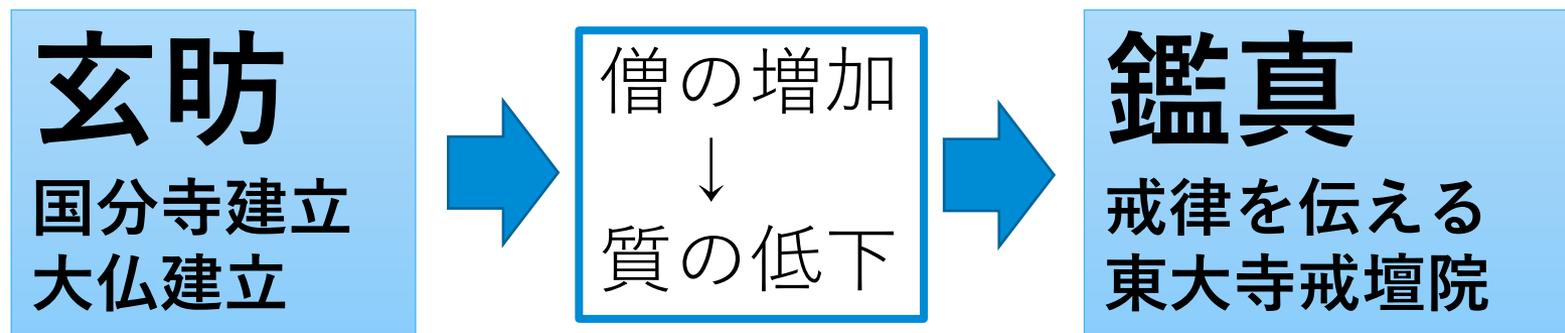
- ①東大寺(国分寺の総本山) → 華嚴宗
- ②興福寺(藤原氏の氏寺) → 法相宗
- ③元興寺(飛鳥寺を移設) → 律宗
- ④大安寺(別名南大寺) → 三論宗
- ⑤西大寺(孝謙上皇が発願) → 律宗
- ⑥薬師寺(藤原京から移設) → 法相宗
- ⑦法隆寺(or唐招提寺)

南都六宗：仏教研究の学派

※他に、成実宗・俱舎宗があったが途絶えた。

僧尼令：僧を統制する法律。僧になるには国の許可(得度)が必要。勝手に僧になること(私度)・民衆への布教・天皇批判は禁止された。

2 僧侶の活躍→僧侶は宗教者であるばかりでなく、最新の文明を身につけた一流の知識人でもあった。しかし、その活動は寺院内に限られていた。



行基

- 禁止されている民間布教をおこない、3回弾圧を受ける。
- 弟子や民衆を率いて大仏造立に協力し、大僧正に。



行基(ぎょうき) 何した人?



行基の行ったこと

池や橋の築造・改修

布施屋

土塔



大野寺の土塔

開墾、失業者に仕事を、
ホームレスに食事を！

広く寄付を集め、貧しい
人に仕事と土地を与える＝社会事業

行基集団1万人！

3 仏教の教え→

「慈悲」の心、衆生救済、善行が福德を生む。

民衆のために社会事業をおこなう。

光明皇后：悲田院(孤児・病人を収容)

施薬院(病院)の設立

和気広虫(法均尼)：恵美押勝の乱の孤児を養育

1 文学と教育機関→貴族や官人は(ア漢詩文)の教養が必要とされ、(イ和歌)も天皇から民衆にいたるまで広く詠まれた。貴族や地方豪族の教育機関として(ウ大学)や(エ国学)がおかれた。

文学	漢詩文	懐風藻	現存最古の漢詩集。大友皇子・長屋王ら。 ※漢詩人：淡海三船・石上宅嗣ら
	和歌	万葉集	東国の民衆の東歌や防人歌も含め4500首
教育機関	大学	都に設置。貴族の子弟を学生とし、試験合格して官人に。 ※教科：明経道(儒教)・明法道(律令)・算道・音道・書道、のち紀伝道(漢文・中国史)	
	国学	国ごとに設置。郡司の子弟を教育。国司が管轄。	

2 天平の建築→寺院や宮殿に礎石・瓦を用いた壮大な建物が建てられた。

法隆寺夢殿：聖徳太子を記念。

唐招提寺：鑑真のために建立。

東大寺：**法華堂**(三月堂)、転害門、**正倉院宝庫**

北・中・南の三つの倉。**聖武天皇**の遺品や正倉院文書をおさめる。三角材を井桁に積み上げた**校倉造**、**高床式**の構造。開扉には天皇の許可がある「勅封」の倉。

2 天平の彫刻→表情豊かで調和のとれた仏像が多く、金銅像・木像・塑像・乾漆像の技法が発達した。

技法	塑像	木を芯として粘土を塗り固める技法
	乾漆像	原型の上に麻布を幾重にも漆で塗り固め、あとで原型を抜き取る技法
彫刻の例	興福寺八部衆像<乾漆像> (例)阿修羅像	
	// 十大弟子像<乾漆像>	
	東大寺法華堂不空罽索觀音像<乾漆像>	
	// // 日光・月光菩薩像<塑像>	
	// 戒壇院四天王像<塑像>	
	唐招提寺鑑真像<乾漆像>	
新薬師寺十二神将像<塑像>		

3 天平の絵画・工芸→(ウ正倉院)宝物には、唐や西アジア・南アジアとの交流を示すものがみられ、国際性がうかがえる。

絵画

正倉院鳥毛立女屏風の樹下美人図
薬師寺吉祥天像

過去現在絵因果経

工芸

正倉院宝物

例)螺鈿紫檀五絃琵琶・漆胡瓶・白瑠璃碗
東大寺大仏殿八角灯籠

百万塔陀羅尼

釈迦の前世を描く。のちの絵巻物の源流。

称徳天皇が恵美押勝の乱の戦没者を慰霊するためにつくらせたもの。世界最古の印刷物。



正倉院螺鈿紫檀五絃琵琶

まとめと振り返り

1. 国史編纂と『万葉集』

天平文化は盛唐文化の影響を受けた国際色豊かな仏教文化で、国史や地誌が編纂され、漢詩文や和歌がさかんであった。

2. 国家仏教の展開

鎮護国家の思想により国家仏教が発展して僧侶が活躍し、仏教思想の影響を受けて社会事業がおこなわれた。また、行基は禁止されていた民間布教をおこなった。

3. 天平の美術

壮大な寺院や宮殿が建てられ、塑像・乾漆像の技法による仏像がつくられた。正倉院宝庫には国際性豊かな工芸品がおさめられている。